

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和3年度 第3回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局(担当課)		庶務課
開催日時		令和3年12月27日(金) 午前9時00～午前10時45分
開催場所		豊島区立千歳橋中学校 1階会議室
議 題		(1) 評価対象事業のヒアリング及び質疑応答 ① 学校施設環境改善交付金対象事業 ② 区立幼稚園の認定こども園化の検討
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	美谷島 正義 木村 文香 岩井 由美子(敬称略)
	その他	教育長、教育部長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、 教育センター長、教育施策推進担当課長
	事務局	庶務課長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
美谷島委員長	<p>【開会】</p> <p>それでは議事を進めてまいります。</p> <p>議事（１）評価対象事業のヒアリング及び質疑応答に移りたいと思います。先程施設見学を行った学校施設整備の補助金について、学校施設課長説明をお願いいたします。</p>
宇野学校施設課長	<p>【①学校施設環境改善交付金対象事業の説明】</p>
美谷島委員長	<p>今学校施設課長から説明して頂きました。それでは委員の方々、質問・意見等をお願いいたします。</p> <p>宜しいですか。では私から２つほど教えて頂きたい部分があります。</p> <p>１点目は、事業の目的のところ、課長の説明の中で、防災機能の強化と書いてありますね。たとえば外壁は老朽化ですが、申請するときは防災機能の強化というものに入るのですか。</p>
宇野学校施設課長	<p>委員がおっしゃった通りでございまして、外壁の改修につきましては、学校施設環境改善交付金の中では、防災機能強化の括りの中で検討されているところでございます。</p>
美谷島委員長	<p>２点目ですが、コロナ禍で蛇口を自動水栓化して、たとえば男子の場合はトイレで水を流すときに触れると水が流れるということで自動になっています。</p> <p>蛇口の部分については補助金の対象外であったということですが、補助金を申請するというのは大変なことだと思います。ここを工夫したとか、がんばったというところがあれば教えて頂ければと思います。</p>
宇野学校施設課長	<p>補助金の交付申請にあたっては、どこが対象となる、採択されるといったところにつきましては、国や東京都の見方によって左右される部分がございますので、基本的には豊島区のスタンスとして、最大限申請はしておくという形です。</p> <p>今回トイレの中でも水栓の部分が撥ねられたということについては、実際国の方で補助金の監査に来たところで、これはダメですねという形で撥ねられているものなので、もしそうでなければ、そちらも満額頂けたかもしれないという形です。</p> <p>基本的には最大限申請したうえで採択を待つという形で、最初からされないという前提ではなく、最大限の申請を行っていくスタンスです。</p>
美谷島委員長	<p>どうでしょうか、今日見せて頂いて何かお気づきになった点とかご質問したい点はございますか。</p>
木村委員	<p>宜しいでしょうか。</p> <p>目的のところ、質的な向上を図るとありますが 最終的に日々使って質的にここがこうだといいなというのは、先生方や生徒や保護者、地</p>

<p>宇野学校施設課長</p>	<p>域の方の声というのがあると思いますが、特にこちらは外壁の改修というところで、見た目や細かいところも含めて使っている人たちの声はどう集めるものなのか教えて頂ければと思いました。</p> <p>今回のような外壁改修においては、以前の事務点検でもありましたように、年度ごとにサイクルがある程度決まった形で改修計画を立てるものでございます。それ以外の学校側の意見につきましては、年1回以上改修要望調査というのを行っておりまして、「校舎のここがこうなっています」といった形で各学校から要望を頂き、施設課の職員と施設整備課の職員がヒアリングや視察に行ったうえで、限られた予算内で改修を行っていくものです。</p>
<p>木村委員</p>	<p>そうすると、この基礎データのところにある「千川中学校の建て替え等を考える会」というのは、決まってから具体的に細かいところを詰めていく会という感じですか。</p>
<p>宇野学校施設課長</p>	<p>先程申し上げた形とはまた別に、千川中学校の改築をやりますという形でございますので、この校舎がなくなって新しい校舎を建てるということで、地域の方々とか、学校関係の方々を集めまして、どんな学校にしたいか、まずコンセプト作りから「こんな学校にしたい、こういう地域の拠点にしていきたい」といった意見を吸い上げて委員の方に検討して頂くような活動をしているものでございます。</p>
<p>美谷島員長</p>	<p>岩井委員、何かございますか。</p>
<p>岩井委員</p>	<p>先程見せて頂いて便器だけではなくて本当にきれいになっていました。照明とかも暖かく、開放感がある明るい感じのする造りになっているなと思いましたが、照明も全部替えたのでしょうか。</p>
<p>宇野学校施設課長</p>	<p>今回トイレ改修にあたっては、部分照明、LED照明などに改修しています。</p>
<p>岩井委員</p>	<p>和式を様式にしたということですが、23基のどのくらい和式だったのでしょうか。</p>
<p>宇野学校施設課長</p>	<p>全部が和式だったわけではありませんが、既存の洋式トイレも含めてウォシュレット対応形の改修をしたというものでございます。</p>
<p>岩井委員</p>	<p>9月から1月の改修期間中に子供たちが使って、混雑とか問題はなかったのでしょうか。</p>
<p>宇野学校施設課長</p>	<p>基本的に改修工事は、校舎内は夏休みに行わせて頂いて調整をしております。</p>

美谷島委員長	<p>宜しいでしょうか。先程木村委員から年1回程改修要望希望調査、予算的にはいろいろな学校から集まってくるわけですから、限られた予算の中ですべてがうまく改修できるかどうかは非常に難しいというところで学校施設課長が大変だと思います。</p> <p>今日はお忙しい中、副校長先生に立ち会って頂きましたが、どうでしょう副校長先生、8割ぐらい満足していますか。</p>
千登世橋中学校副校長	<p>改修工事に伴いまして、毎年いろいろな問題点を学校でも挙げさせて頂いて、水漏れとか雨漏りとかがあちこちあったのですが、外壁の時にそのへんの話をしてしましたら全部評価して頂いて、お陰様で今万遍なく済んでおります。</p> <p>それから外壁の方も、先日ご近所の方が創立当時のことを知っていたので、20年前に戻ったようだとわれ、蘇ったねという声も聞きました。</p> <p>トイレは今まで和式はあったもののほとんどの子供が使っていなかったもので、洋式に集中するようなどころもありましたが、改修されて快適に使わせてもらっています。</p> <p>細かいところでいろいろな心遣いがあるって、毎週1回私たちは打ち合わせをしているのですが、それでも私が気付かないところがあるって、「今授業中でこれをやるから音を何とかしてほしい」とか、「今この匂いがちょっと耐えられない」とか、いろいろな声が先生たちからも生徒たちからも出たのですが、その度に工務店さんに連絡をすると「じゃあ何時に伺います」とか、すごくこちらに配慮してくださって、工期のある限られた中で配慮しながらやって頂き有難いところです。</p> <p>いつのまにか生徒が警備の方とか、職人さんと挨拶を交わすようになって、最後には「お礼の言葉を言いたいから」と生徒たちが自主的にお手紙を書いて24日に責任者の方にお渡ししたところです。</p> <p>そんな事もあって、物が直ってきれいになって勿論嬉しいのですが、そこに携わった方々との良い触れ合いが出来たと思っています。生徒たちも感謝していますし、工事に携わってくださった方々も本当に無理を言っても聞いてくださっています。</p>
美谷島員長	<p>他にございますか。宜しいでしょうか。それではこれで第一の議題を終わりたいと思います。</p> <p>それでは続いて②「区立幼稚園の認定こども園化の検討」について、教育施策担当課長から説明頂きたいと思います。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p style="text-align: center;">【② 区立幼稚園の認定こども園化の検討の説明】</p>
美谷島員長	<p>今課長から説明して頂きました。委員の方々、ご意見ご質問あればいかがでしょうか。</p> <p>では、私から質問させて頂きたいと思います。</p> <p>1つ目は、新しく担当課長のポストが増えたということから言えば、豊島区としては近々の課題になると思いますが、まず推移の問題ですね。どこの公立幼稚園も初めは良かったが、だんだん萎んでいるというのが現状だと思います。</p> <p>私立認可保育所が先程の課長の説明ではぐんと伸びていますね。逆に</p>

坂本教育施設推進担当課長	<p>公立認可保育所はあまり変わっていない。これは私立幼稚園の子供たちがこちらに流れているのではないかという見方をしているのですか。</p>
美谷島員長	<p>まず共働き世帯がこの間増えていったということがあって、そのニーズに応じて豊島区で保育所を誘致したという状況です。それは共働き世帯が増えているので、ニーズを受けるといって形となっていて、区立幼稚園は基本的な教育時間は9時から14時となっていて、この間17時まで預かり保育という形に充実してきましたが、フルタイムで共働きをしたいという潜在的なニーズには応えられていなかった。</p> <p>結果的に共働きをしたいと思っている世帯は保育園に通うようになっている。保育園に入れなかったから共働きできなかった家庭の子供たちが保育園に通うようになって、幼稚園が選ばれなくなり、置き換わった状況です。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>2点目は変遷の部分で、先程豊島区立幼稚園検討委員会が一つの設置基準を出しましたね。これは先ほどの課長の説明でいくと教育委員会ではないということでした。区長部局の方で作ったものということでした。</p>
美谷島員長	<p>検討委員会の報告は受けただけで、この基準は教育委員会が決定したものではないというところで、参考にしていく基準であります。</p> <p>平成14年に報告を受けたものなので18年近く経っているという状況で、これをそのまま受けるわけではなくて、現状に応じて区立幼稚園の認定こども園化の検討も進めているので、それに合わせて幼稚園全体のことを検討するという考え方です。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>そうすると平成22年度からのあり方検討委員会というのは教育委員会が管理している。</p>
美谷島員長	<p>そうですね。幼稚園検討委員会も区立幼稚園のあり方も、全て教育委員会の会議で検討しています。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>それから最後の質問ですが、分園(3)の方法で検討しているというところですが、ここの例でいくと池袋第五保育園と池袋幼稚園の距離の部分があって、いわゆる指導者というか先生の、例えば中学校で言えば職員室、そういう部分は全く別で考えているということですね。</p>
美谷島員長	<p>それは場所としてそれぞれに職員室を置くということですか。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>つまり組織として動く場合には、例えば保育園長がいて幼稚園長がいますね。幼稚園は幼稚園長の統治の中で行っている。離れてしまうとその辺の課題はどうなのかということ。</p> <p>もう一つは教育の中身として、保育園の場合に、この場合でいくと4歳児5歳児が多く動いたときに、保育だけでなく、教育を行うということになると、保育園は厚生労働省の管轄、幼稚園は文部科学省ですね。教育ということになると、幼稚園の教育要領に基づいて行うという認識で良いということですか。それは誰が指導するのですか。</p>

坂本教育施設推進担当課長	<p>最初のお話ですと、他区の事例になります。新宿区や台東区で分園型認定こども園をやっていますが、そこでは園長が一人、副園長がそれぞれいてという形で、離れていても一つの組織ですので、それぞれの園舎を園長が管理し、副園長が補助するという形になっています。それぞれの園舎が連携して一つの施設として運営していくところは、園長先生が行ったり来たりしながら運営をしている状況でございます。園舎は分かれています。一体の施設なので、園長が一体で見えていくという形です。</p> <p>指導内容でございますが、幼児教育施設は大きく幼稚園と保育園と幼保認定型のこども園と3つがございます。それぞれが幼稚園指導要領・保育指針、こども園の保育要領というのがあります。それぞれ「幼児教育の目指す10の姿」という目指すべき姿を共有しているので、基本的にはそれに則ってそれぞれがやっていくということになります。</p> <p>認定こども園については、保育所型と幼稚園型と幼保連携型があって、基本的にはその形態に沿って、保育園では保育指針、幼稚園では幼稚園の教育要領、こども園であればこども園の要領に基づいて教育内容を考える。ただ、目指すべき姿は共有しているというところで、小学校への接続を意識しているところでございます。</p> <p>教育時間に関しては、教育委員会としても指導計画については指導をしていく必要があるだろうと考えています。</p>
美谷島員長	<p>単純な意見ですが、例えば4歳児、5歳児に対して教育まで行うというと幼稚園と同じになるわけですね。そして長い時間いさせてくれる。そうするとユーザーからしてみると、今幼稚園に入った保護者が「じゃあ、そっちの方にしてくれないの？」というようなことは起こるのではないのでしょうか。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>そうですね。幼児教育施設に入る場合、保育に欠けるか欠けないかという認定が大きく分かれていまして、幼稚園は保育に欠けない子供たちがメインであって、その子供たちは基本的には9時から14時の教育時間が終わったら帰る。その後、パートをやっているような方々については預かり保育という形で受け入れをしています。17時までしかやっていないので、そこまでしか受け入れられないというような状況で、それを伸ばしてくれというニーズは実はそれ程多くはないです。通っている保護者からはもうそれで十分です、というような方が多いです。</p> <p>一方で保育園の保育に欠ける子供たちにとっては17時まででは足りない。幼稚園での幼児教育を受けることはできない。</p> <p>こども園は保育に欠けない子供たち、保育に欠ける子供たちが一緒に認定こども園に通うというような形になりますので、9時から14時までの短時間で大丈夫です、という子供は14時に帰ります。</p> <p>その後、保護者がパートをやっていて、幼稚園で預かり保育を利用しているお子さん方は、17時ぐらいに帰る。保育園に通っていて、19時まで預けないといけないという子供たちは、19時まで預けるという形になりますので、みんなが絶対いるのは9時から14時の基本的な教育時間、ここで教育をやってその後は保育をするというような形にこども園の1日の流れとしてはなると思います。</p>
美谷島員長	<p>今そのニーズはそれ程多くないという話ですが、もし仮にそういうニーズがあった場合には「わかりました」と言って個別に、円滑に対応していただけるということですか。そうではないのでしょうか。</p>

坂本教育施設推進担当課長	<p>現在、区立幼稚園では17時までですが、預かり保育をやっています。これを伸ばすとすると人の問題など運営体制の課題があります。また、そもそも区立保育園、私立保育園、4、5歳児は保育園に入れる状況もあるので、区立幼稚園が今の状況のままもっと長く預かってほしいといわれても対応はできない状態です。</p> <p>そこを突破する方法として区立幼稚園の認定こども園化というところで我々としては進めていきたいと考えているところです。</p>
美谷島員長	<p>わかりました。宜しいでしょうか。</p>
木村委員	<p>先程の委員長のご質問とも少し関連する部分ですが、私が保育者養成に携わったのが6年ぐらい前で少し情報が古いかもしれないので教えて頂きたいと思います。</p> <p>携わる先生方の資格というか免許ですが、多くの認定こども園は、出来初めの頃は保育士免許だけを持っていらっしゃる先生には幼教の免許が取れる研修や、逆もあったというふうに記憶しています。そういった部分の豊島区としてのサポートや、これは開設の時期とも関わってくると思いますが、実際に走り出す時点では、全部の先生方が幼教と保育士と両方持っているという状態でスタートさせる見通しなのかを教えてください。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>現状としてそれぞれ幼稚園で働いている職員、保育園で働いている豊島区の職員ですが、6割から7割くらいは両方併有しているというようなことですので、併有している職員に働いていただくのが基本だと思っています。</p>
木村委員	<p>では、新たに開設するから両方取れるようにというニーズがあったときに、豊島区が研修をセッティングしたりということは今のところ検討されていないということですか。</p>
坂本教育施設推進担当課長	<p>基本的にそこは職員の希望にどう沿っていくのかというところにはなるとはありますが、基本的にはこども園で働くのは併有者というところは考えていきたいと思っています。</p>
美谷島員長	<p>今の木村委員のお話は非常に重要な問題だというふうに認識しています。</p> <p>今、私が勤めているところは、初めは幼稚園の免許しか取れなかったのですが、こども園のニーズがあって3年位前から幼稚園と保育士の免許を取れるようにしました。</p> <p>そうするとまた授業内容も変わって、木村委員がおっしゃった資格の問題がそうで、それを研修だけで東京都が認可するかどうかとか、そういう問題も入ってくるので、その辺の検討はして頂かないというふうに思います。</p> <p>他は宜しいでしょうか。岩井委員いかがですか。</p>
岩井委員	<p>いろいろな立場のものにメリットがたくさん感じられてすごくいいなと思っています。</p> <p>今、中1の娘が幼稚園の時だった頃ですが、「こども園」がちょうど話題になったときに、当時の園長先生が、保育園は厚生労働省で幼稚園は文部科学省になるのですごく難しい、とおっしゃっていたのが印象に残</p>

<p>坂本教育施設推進担当課長</p> <p>美谷島員長</p>	<p>っていたので、その部分で教育、保育の中身ですとか、先生の免許のところをどんだんクリアにして、更にいい形で実現するような気がするので非常にいいと思っています。</p> <p>この地図を拝見しても、こんなに大きなそれぞれの保育園と幼稚園にも使えるとか、園児にとっては夢のような充実した幼児期が送れるのではないかと思います。</p> <p>現在、こども家庭庁を作るというような話もあって、そういった動きも睨んでいきたいと思っています。</p> <p>文部科学省の幼稚園部分は移管されずに残るということも聞いていますので、今後そこをどのように幼保連携を一体化していくかというところは、国の動きも注視していきたいと思っています。</p> <p>また、幼児教育ということに関して、小学校との接続をどうしていくのかはとても大きな課題だと思っています。この池袋幼稚園と池袋第五保育園が存在するブロックの池袋小学校とも保幼小連携というところで、強化できないかと今考えているところですので、保育園と幼稚園の連携だけでなく小学校への接続もしっかりやっていきたいと思っています。</p> <p>その他委員の方々宜しいでしょうか。 それでは本日の議事は終了いたしました。</p> <p style="text-align: center;">—閉会—</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>【資料1】事業分析シート【学校施設環境改善交付金対象事業】</p> <p>【資料2】事業分析シート【区立幼稚園の認定こども園化の検討】</p>